SINCOL シンコール株式会社

エミネンス
リフォームフロアー施工説明書

※この商品は一般住宅およびそれに準じる居住施設の屋内専用です。
他の用途へのご使用はおやめください。屋外および浴室内部など頻繁に水分と接するところには使用しないでください。

■施工説明書をよくお読みのうえ、正しく安全に施工してください。
特に「安全上のご注意」は、施工前に必ずお読みください。
■施工説明書に記載されていない方法や、指定の接着剤を使用しない方法で施工されたことにより不具合や損害が生じたときには、当社では責任を負いかねます。また、その施工が原因で故障が生じた場合は、製品保証の対象外となります。
■この商品は日本国内専用品ですので、日本国外での設置はしないでください。
■梱包材や残材は、法律に従って適切に処理してください。
■取扱説明書は必ずお客様にお渡ししてください。（施工完了後、使いかたを説明してください）

安全上のご注意　必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

⚠注意

必ず守る	**カッターナイフを使用して作業する際は、手などを切らないように注意する** けがのおそれがあります。	必ず守る	**下地との接着には必ず指定の専用接着剤（EPシングルウレタン低臭α、MSフロアーR）を使用する** 使用しないと、はがれ・突き上げ・反りなどの原因となり、けがのおそれがあります。 ※MSフロアーRは更新性接着剤であり、床暖房では使用できません

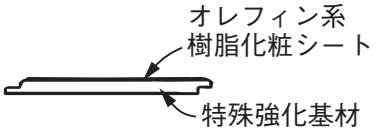
製品仕様　〔寸法単位：mm〕

品名	エミネンスリフォームフロアー
梱包枚数	24枚／ケース（3.3m²）
寸法	長さ909×幅151.5×厚さ1.5

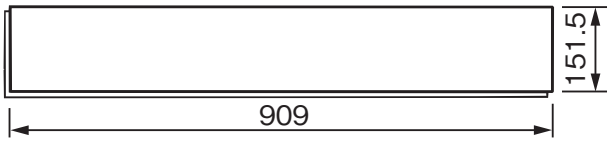
■施工に必要なもの

・接着剤：EPシングルウレタン低臭α（シンコール　容量5kg）
・接着剤：MSフロアーR（タイルメント　容量5kg）
・下地補修剤：フロアシール（シンコール（株））
　　アースタック（ヤヨイ化学工業（株））

■断面図



■寸法図



施工上のご注意

●この商品は既存の木質床材に直接施工するリフォーム用床材です。表面が平滑な木質床材に施工可能です。表面に凹凸のあるもの、クッション性があるものには施工できませんのでご注意ください。
（例：クッションフロアー、カーペット、防音フロアー、畳など）
●土足で使用する場所への施工はお避けください。
●欠けたり折れたりしやすいので、取り扱いには十分ご注意ください。また、開封後、商品を立て掛けたりしないでください。欠けや曲がり防止のため、必ず平らな場所で保管してください。
●この商品は専用接着剤で施工します。さね部へのくぎ打ちは行わないでください。
●商品本来の目的以外のご使用はお避けください。
●床暖房下地は温水式（パネル式）床暖房のみ対応可能となります。
※土間埋設型床暖房、フィルムヒーター式の床暖房にはお使いいただけません。

NK-283　第2版 1904

1 施工前の準備

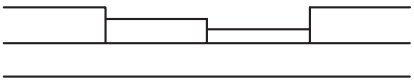
1 施工に必要な工具の確認

・カッターナイフ　・定規　・カンナ　・サンドペーパー　・床用養生テープ
※下地材の状態によっては下地補修剤やワックスクリーナーなどが必要になる場合があります。

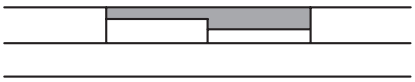
2 下地材の確認および調整

●下地の平滑性

下地に段差や凹凸がある



段差や凹凸を補修剤でできるだけ平滑に調整してください



※推奨補修剤：
フロアシール（シンコール（株））
アースタック（ヤヨイ化学工業（株））

●きしみ・踏み鳴り

既存床にきしみや踏み鳴りがないことを確認してください。
きしみや踏み鳴りがある場合は、くぎ打ちなどで事前に補修を行ってください。
くぎ打ちをしても直らない場合は、下地の交換が必要です。
エミネンスリフォームフロアーを施工してもきしみや踏み鳴りの解消にはなりませんのでご注意ください。

●下地表面

既存床にワックスが塗られている場合や汚れが付着している場合は、接着不良の原因となりますので、
市販のワックスクリーナーの説明書に従って、ワックスや汚れを除去してください。

●下地の乾燥

既存床や床材の下地にぬれや湿りがあるなど含水率が高い場合は、施工後にふくれや突き上げなどの不具合が生じます。
必ずしっかりと乾燥していることを確認し、施工を行ってください。

2 施工のしかた

〔寸法単位：mm〕

床暖房への施工につきましては、7「床暖房下地へ施工する場合」に従い施工を進めてください。

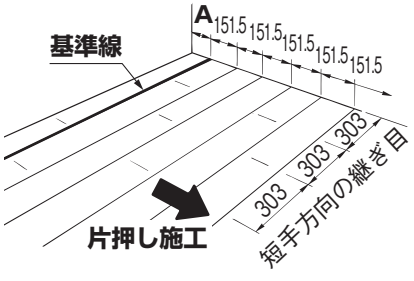
1 割り付け・墨打ち

この商品にはさねがありますので、貼り込みは基準線からの片押し施工となります。

●割り付けに際しては、壁際や出入口などの納まりを考慮し
まず貼出しとなる基準線を設定してください。

【ポイント】

下地フローリングの目地とリフォームフロアーの目地が重ならないように
割り付けを行ってください。
（既存目地をリフォームフロアー目地がまたぐ割り付けを推奨します。）



●玄関・廊下と居室が続く場所に施工するときは、特に割り付けにご注意ください。

●短手方向の継ぎ目は、1尺（303mm）ずらしか、乱貼りのどちらかとしますが、
目地位置が近すぎないよう、小さい切り物が入らないように割り付けを行ってください。

2 接着剤塗布

エミネンスリフォームフロアーの施工には必ず専用接着剤、付属のくし目ごてを使用してください。

専用接着剤	タイプ	容量	メーカー	特性	床暖房
EPシングルウレタン低臭α	(低臭)ウレタン樹脂系	5kg	シンコール株式会社	強接着	○
MSフロアーR	変成シリコン樹脂系	5kg	株式会社タイルメント	更新性	×

※専用の接着剤以外をご使用になられて生じた不具合につきましては、原因究明ができないためご相談には応じられません。
※従来の床用溶剤型ウレタン系接着剤は材料の反りを発生させるおそれがあります。

■EPシングルウレタン低臭αの使用方法

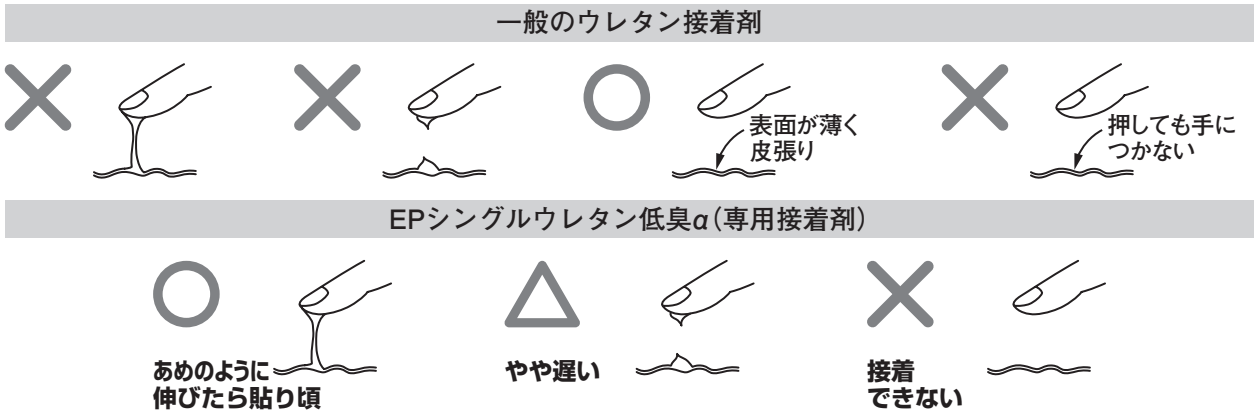
EPシングルウレタン低臭αはリフォームに適した臭いの少ない接着剤で、従来の溶剤型ウレタン系とは性質が異なります。

●接着剤は付属の専用くし目ごてを用いて適量(300～350g/m²)を均一に塗布し所定のオープンタイムをお取りください。
※下記時間は下地の含水率や施工条件により変わることがありますので、実際には指触にてオープンタイムを確認してください。

専用接着剤	気温(季節)	オープンタイム(待ち時間)	貼り付け可能時間(待ち時間後)
EPシングルウレタン低臭α	10℃～15℃(冬)	約20分～30分	約30分
	15℃～25℃ (春・秋)	約30分～40分	約40分
	25℃～35℃ (夏)	約20分～30分	約30分

●一度に塗布する面積は、貼り付け可能時間内に施工できる範囲としてください。
●壁際まわりは3mm以上の空白を残さないように塗布してください。この部分はオーバータイムになりやすいのでご注意ください。
●塗布後、接着剤に粘りができ、あめのように伸びる状態になったら、速やかに床材を貼り合わせてください。
湿気の多い季節、環境では皮張りが早くなります。表面が乾いた状態では接着できません。
貼り付け可能時間が過ぎた個所は接着剤を除去し、新たに接着剤を塗布してください。
※オープンタイムは接着剤の乾燥状態を触指にて実際に確認してください。

指触によるオープンタイムの目安



●床材の貼り付け後、10分以内にローラーで十分に圧着してください。壁際や細かい所はハンドローラーで十分に圧着してください。
湿気と反応して発生するガスなどによるふくれを防止するため、接着剤が固まるまで数回押さえてください。
※低温時(室温10℃以下)での施工は、接着剤の硬化に時間がかかり接着剤が目地からはみ出しやすくなります。
必ず10℃以上の一定の温度で施工してください。

■MSフロアーRの使用方法

MSフロアーRは更新性に優れた部分貼り替えに対応する接着剤で、従来の溶剤型ウレタン系とは性質が異なります。

●開封前に袋を上下によく振ってからご使用ください。

●接着剤は付属の専用くし目ごてを用いて適量（300～400g/m²）を均一に塗布し所定のオープンタイムをお取りください。
※下記時間は下地の含水率や施工条件により変わることがありますので、実際には指触にてオープンタイムを確認してください。

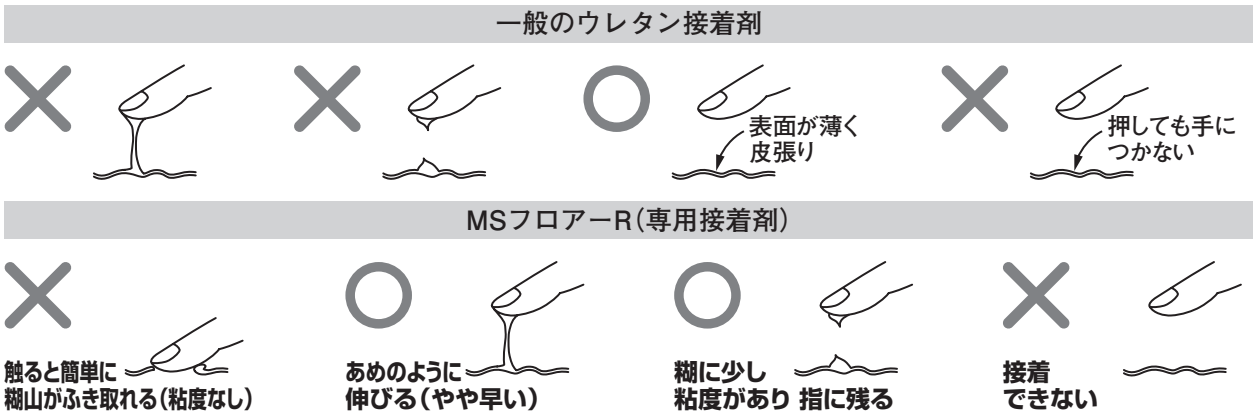
専用接着剤	気温（季節）	オープンタイム（待ち時間）	貼り付け可能時間（待ち時間後）
MSフロアーR	5℃（冬）	約30分	約60分
	23℃（春・秋）	約15分	約40分
	35℃（夏）	約10分	約30分

●一度に塗布する面積は、貼り付け可能時間内に施工できる範囲としてください。

●壁際まわりは3mm以上の空白を残さないように塗布してください。この部分はオーバータイムになりやすいのでご注意ください。

●塗布後、接着剤に粘りができ、触指時に指先に付着する状態になったら、速やかに床材を貼り合せてください。
表面が乾き、皮張りした状態では接着できません。
貼り付け可能時間が過ぎた個所は接着剤を除去し、新たに接着剤を塗布してください。

指触によるオープンタイムの目安



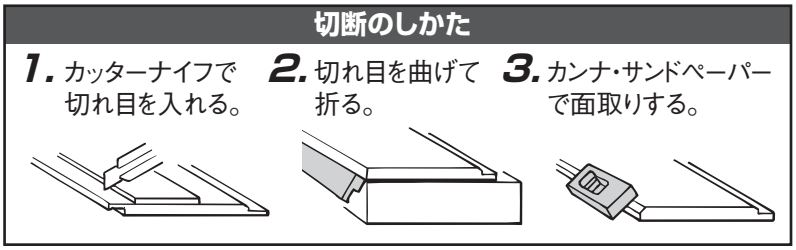
●床材の貼り付け後、10分以内にローラーで十分に圧着してください。壁際や細かい所はハンドローラーで十分に圧着してください。
湿気と反応して発生するガスなどによるふくれを防止するため、接着剤が固まるまで数回押さえてください。

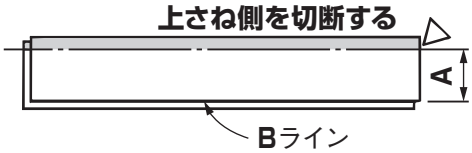
●床材のふくれに繋がりますので、接着剤が十分に硬化するまで（夏季24時間以上、冬季48時間以上）は重量物の運搬などは行わないでください。

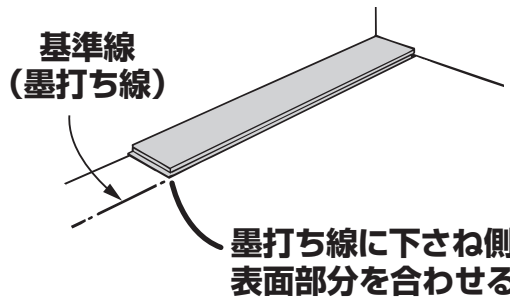
3 貼り始め

1. 割り付けの基準線に従い、1列目の床材を（**A**寸法）に切断する。
壁面や枠回りとの取り合いは、すき間が生じないように巾定規を用いてけがいてください。
床材がずれやすい場合は、床材同士を養生テープで固定するか、下地に両面テープなどで仮止めしてください。

切断のしかた







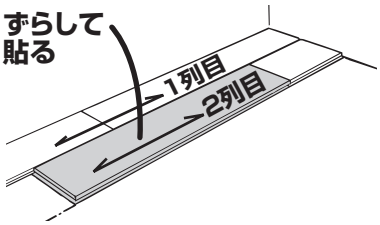
2. 貼り始め1列分を基準線（墨打ち線）に合わせて貼る。
墨打ち線に下さね側の表面部分（**B**ライン）を合わせてください。

注意 床材と接着剤との間にごみが入り込まないように注意してください。
フロアーの浮き、目違いの原因となります。

4 2列目以降の貼り付け

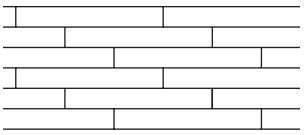
1. 短手継ぎ目が1列目と同じ位置にこないように、1尺ずらしや乱貼りにしてください。
短手の継ぎ目が近い場合、目すきが発生した場合に目立ちやすくなります。

2. 貼るときはさねの重なりや浮きがないことを確認しながら進めてください。
接着剤のオープンタイムが不足の場合、フロアーがずれ、さねが重なりやすくなり、
目地から接着剤がはみ出しますのでご注意ください。

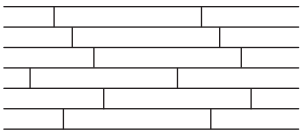


■貼り方例

〈一尺ずらし貼り〉

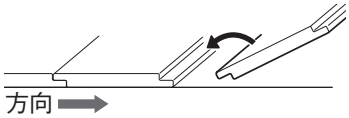


〈乱貼り〉



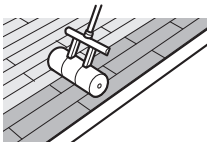
■貼り方向

目地部から接着剤のはみ出しを防ぐために、下さね部に
上さね部をのせる方向に貼り進めてください。



注意 **●この製品は突き上げ防止のため、目地に少しすき間ができるようになっています。
フロアーを貼り進めるときは無理に押し込まず、少し余裕を持たせて貼り込んでください。
特に壁際の納めはきつく入れますと突き上げが起こる可能性がありますので、貼りじまいなど無理に入れ込まないようにしてください。ハンマーなどで無理にたたき込んだり、足でけったりしないでください。**

3. 施工後はリノリュームローラーで十分に圧着を行ってください。
壁際やコーナー部など細かい個所はハンドローラーで十分に
圧着してください。



4. 壁や幅木の取り合い部にすき間が生じた場合は、
必要に応じてコーキング処理を行ってください。

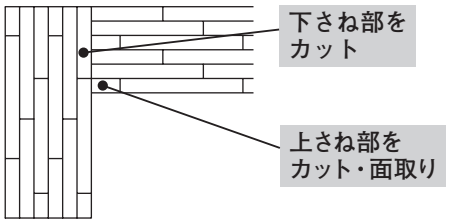
・壁際用コーキング：アースコーク(ヤヨイ化学工業)
カラーライト(関西フェルト)

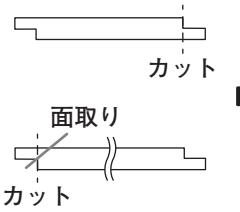
〈コーキング色対照表〉

フロアー色番	アースコーク色番	カラーライト色番
RF-01	アイボリー	AB13
RF-02	ライトベージュ	AB15
RF-03	ベージュオレンジ	BA14
RF-04	ライトオーク	AA04
RF-05	ライトアンバー	DE10

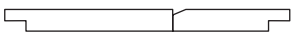
フローリングの流れを変える場合の注意事項

エミネンスリフォームフロアーは目地部分の納まりを考慮すると同じ向きで施工を行うのが望ましいですが、
施工場所によっては下図のように流れを変えた方が納まりがきれいになる場合があります。
流れを変えて施工を行う場合は、下記の点にご注意ください。





流れが変わる部分では、どちらもさねを落として
フローリング同士を突き付けにして納めてください。
上さねが残り、下さねがない状態で張り合わせますと
接着不良、浮きの原因となります。



5 仕上げ

●施工後はフロアーの目違い、すき、浮き、汚れなどの不具合がないか点検を行い、不具合がある場合は処理を行ってください。

●施工中に付着した汚れは、速やかに硬く絞った雑巾などでふき取ってください。目地からはみ出した接着剤はアルコールなどを布に含ませふき取りますが、最後に硬く絞った雑巾などでふき、むらが残らないように再度ふき取ってください。ふき取りの際に強くこすると、表面の光沢変化が起こる場合がありますのでご注意ください。光沢変化はワックスをかけていただくことで、目立ちにくくすることが可能です。

6 養生

施工後は傷や汚れを防ぐために、ビニールシート・発泡シートなどの養生シートを敷き込んでください。
さらに、その上に段ボールや合板を敷いて、十分に養生してください。

注意

- **接着剤が完全に硬化するまでは（夏季24時間以上、冬季48時間以上）室温を一定に保ってください。**
- **接着剤が硬化するまではできるだけ通行を避け、重量物の設置や移動は行わないでください。**
- **養生テープは床用養生テープを使用してください。**
  ガムテープや両面テープを使用されますと、床材表面のはがれや変色が起こる場合があります。
- **直射日光が当たる場所や、外部からの雨水が吹き込むおそれのある場所では、製品の劣化が促進されます。**
  直射日光をさえぎったり、雨水が吹き込まないように十分注意してください。
- **養生中に雨水やペンキなどが養生シートにかからないように注意してください。**
  しみ込みにより、床材表面に汚染、ふくれなどが生じることがあります。
- **養生シートは必ず床全体を覆ってください。**
  養生シートで覆われていない部分が変色する場合があります。

7 床暖房下地へ施工する場合

床暖房下地（フローリング）へリフォームフロアーを施工する場合に、一般下地（非床暖房下地）と施工方法が異なる個所、注意事項に関して記載しています。施工前に必ずご確認ください。

1. 下地の種類の確認

●施工が可能な床暖房の種類

○施工可能…温水式（パネル型）床暖房
×施工不可…土間埋設型床暖房、フィルムヒーター式の床暖房

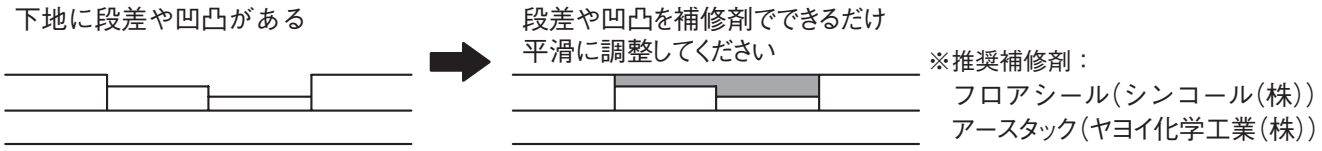
●施工が可能な既存床の種類

○施工可能…複合フローリング（1×6サイズ、雁行サイズ）
×施工不可…クッション材付防音フローリング、無垢材フローリング、上記サイズ以外の複合フローリング

●下地の乾燥

既存床や床材の下地にぬれや湿りがあるなど含水率が高い場合は、施工後にふくれや突き上げなどの不具合が生じることがあります。必ず十分に乾燥していることを確認してください。

●下地の平滑性



※推奨補修剤：
フロアシール（シンコール（株））
アースタック（ヤヨイ化学工業（株））

2. 接着剤

床暖房仕様のフローリング上にリフォームフロアーを施工する場合、必ず**指定接着剤（EPシングルウレタン低臭α）**を使用してください。

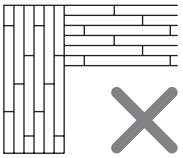
専用接着剤	気温（季節）	オープンタイム（待ち時間）	貼り付け可能時間（待ち時間後）
EPシングルウレタン低臭α	10℃～15℃（冬）	約20分～30分	約30分
	15℃～25℃（春・秋）	約30分～40分	約40分
	25℃～35℃（夏）	約20分～30分	約30分

- 付属の専用くし目ごてを用いて、塗布量に過不足が出ないように適量（300～350g/m²）を均一に塗布してください。
  塗布量が多くても、逆に少なくても接着強度が低下してしまいますのでご注意ください。
- 塗布後、上記のオープンタイムを取り、接着剤に粘りがでたら、速やかに床材を貼り合わせてください。
  オープンタイムを取り過ぎた場合、貼り付け可能時間を越えた場合（オーバータイム）など**接着剤の表面が乾き、皮張りした状態では接着できません。**その際は接着剤を除去し、新たに接着剤を塗布してください。
- 床材の貼り付け後、5～10分以内にローラーで十分に圧着してください。

3. 施工のしかた・養生

基本的な施工の流れは通常施工（非床暖房下地）と変わりませんが、以下注意点を必ずお守りください。

●床暖房下地への施工の際は、必ず**床暖房のスイッチを入れずに切った状態**で施工を行ってください。
●施工完了後は、接着剤が十分に硬化するまでは少なくとも48時間以上は室温を一定に保つようにしてください。
床暖房の運転は48時間以上養生してから、運転を開始してください。
●床暖房下地への施工では、リフォームフロアーの流れを途中で変えることはできません。
同じ向きに揃えて施工してください。

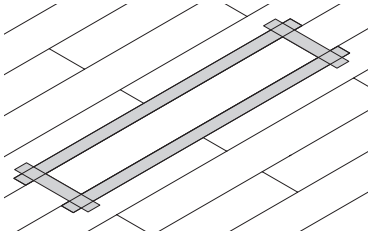


8 部分貼り替えを行う場合

MSフロアーRで施工したリフォームフロアーの部分貼り替えにおける手順、注意事項に関して記載しています。施工前に必ずご確認ください。
※EPシングルウレタン低臭αで施工した、リフォームフロアーの部分貼り替えはできません。

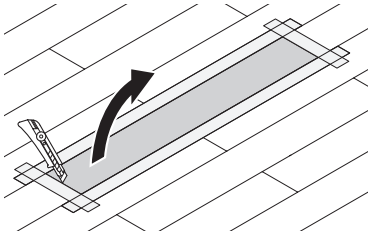
1. 養生テープ貼り付け

接着剤の付着を防ぐ為に、貼り替えをするリフォームフロアーの四方目地部分に沿って養生テープを貼り付ける。



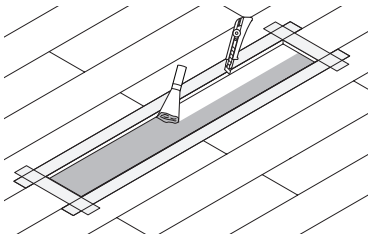
2. リフォームフロアーをはがす

端部に切り込みを入れリフォームフロアーをはがす。
はがれにくい場合は、端部を切断してから、すき間に皮すきを入れすき間を広げるように起こしながらはがしてください。
※周りのリフォームフロアーに傷が付かないように注意してください。



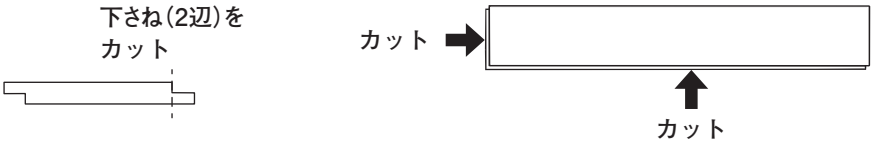
3. 下地に残った接着剤・さねの除去

リフォームフロアーをはがした後、下地に残ったMSフロアーRをスクレイパー、皮すきを用いて完全に取り除く。
接着剤と共に下地面に残った下さね部分もカッターを入れ完全に取り除いてください。
※接着剤、さねが残っている状態では、新たに貼り付けするリフォームフロアーが納まりませんので注意してください。



4. リフォームフロアーの下さねの除去

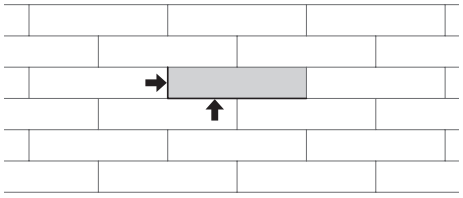
新たに貼り付けするリフォームフロアーが既存のリフォームフロアー目地に接する場合は、
下さね(2辺)をカッターで取り除いてください。



※新たなリフォームフロアーを複数枚並べて貼る場合の下さね処理は不要です(下図参照)。

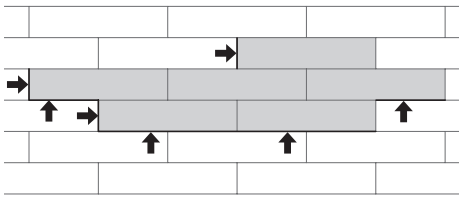
1枚だけ貼り替える場合

下さね(2辺)をあらかじめカットする。



複数枚貼り替える場合

既存のリフォームフロアーに接する下さね部分を
あらかじめカットする。

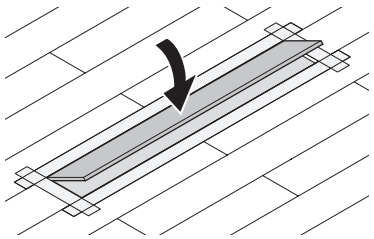


5. 接着剤の塗布

きれいに除去した下地面にMSフロアーRを塗布し、所定の待ち時間
(オープンタイム)を取る。

6. 貼り付け

所定のオープンタイムを取り、MSフロアーRに粘りが出て触指時に
指先に付着する状態になったら、リフォームフロアーのさね部分を
合わせるように貼り付ける。
貼り付け後、10分以内にローラーで十分に圧着してください。
目地部分から接着剤がはみ出した場合はそのままにせず、すぐに
布などでふき取ってください。



7. 養生

接着剤が十分に硬化するまで(夏季24時間以上、冬季48時間以上)は
重量物の運搬などは行わないでください。